### 平成29年度

## 一般1期入学試験問題

# 数 学

## (教養学部・看護学部)

#### 注 意 事 項

- 1. 問題用紙は、試験監督者の指示があるまで開いてはいけません。
- 2. 問題用紙と解答用紙(マークシート)は別になっています。
- 3. 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、**監督者の指示に従って**、それ ぞれ正しく記入し、マークしなさい。
  - ① 氏名欄 氏名及びフリガナを記入しなさい。
  - ② **受験番号欄 受験番号**(数字及び英字)を記入し、さらにその下のマーク欄 にマークしなさい。
  - ③ 試験種別欄 一般1期にマークしなさい。
  - ④ 教科・科目欄 数学にマークしなさい。
- 4. 解答は、解答用紙の解答欄にマークしなさい。例えば、 10 と表示のある問い に対して③と解答する場合は、次の(例)のように**解答番号10の解答欄**の③に**マーク** しなさい。

(例)	解答	解		解	答		欄				
	番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
	10	1	2	•	4	5	6	7	8	9	0

5. 問題用紙は、試験終了後持ち帰りなさい。

■ 以下の各問いの にあてはまるものを選べ。

問 1 
$$(1+\sqrt{2}+\sqrt{3})(1-\sqrt{2}-\sqrt{3})=$$
 1 なので、 
$$\frac{1}{1+\sqrt{2}+\sqrt{3}}+\frac{1}{1-\sqrt{2}-\sqrt{3}}=$$
 2 である。

- **問2** 2次方程式  $x^2 4x 8 = 0$  の解のうち、大きい方の解を  $\alpha$ 、2次方程式  $x^2 6x + 6 = 0$  の解のうち、小さい方の解を  $\beta$  とする。このとき  $\alpha = 3$  、  $\beta = 4$  であるので、 $\alpha^2 \beta^2 = 5$  である。
- 問3 全体集合を  $U = \{x \mid x$ は 9 以下の自然数  $\}$  とし、Uの部分集合を  $A = \{1, 3, 4, 5, 7, 8\}$ , $B = \{1, 2, 5, 7\}$  としたとき, $A \cap B = \boxed{6}$  , $\overline{A} \cap B = \boxed{7}$  である。ただし, $\overline{A}$  はAの補集合を表す。

- 1 の選択肢
- $(3) -4 + 2\sqrt{6}$

- (4) 6 2 $\sqrt{6}$
- (5) 6 +  $\sqrt{6}$
- (6) 6 + 2 $\sqrt{6}$

- 2 の選択肢
- (1) 2  $\sqrt{6}$
- (2) 1  $\sqrt{6}$
- $3 \frac{2-\sqrt{6}}{2}$

- (4) 2 +  $\sqrt{6}$
- (5) 1 +  $\sqrt{6}$
- (6)  $\frac{2+\sqrt{6}}{2}$

- 3 の選択肢
- (1)  $-2 2\sqrt{3}$  (2)  $-2 + 2\sqrt{3}$
- $\widehat{(3)}$  -2  $\sqrt{3}$

- $(4) \ 2 \sqrt{3}$
- (5) 2 2 $\sqrt{3}$
- (6) 2 + 2 $\sqrt{3}$

- 4 の選択肢
- (1)  $-3 2\sqrt{3}$  (2)  $-3 + 2\sqrt{3}$  (3)  $-3 \sqrt{3}$

- $(4) -3 + \sqrt{3}$
- (5) 3  $\sqrt{3}$
- (6) 3 +  $\sqrt{3}$

- 5 の選択肢
- (1) 4 6 $\sqrt{3}$
- (2) 4 14 $\sqrt{3}$
- $\widehat{3}$  4 16 $\sqrt{3}$

- (4) 4 + 6 $\sqrt{3}$
- (5) 4 + 14 $\sqrt{3}$
- (6)  $4 + 16\sqrt{3}$

- 6 の選択肢
- (1) {1, 2, 7}

(2) {1, 5, 7}

(3) {2, 5, 7}

- (4) {1, 2, 5, 7}
- (5) {1, 3, 4, 5, 7, 8}
- (6) {1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8}

- 7 の選択肢

	下の12個のデータについて、以下の各問いの にあてはまるものを選べ。
	4, 9, 6, 8, 6, 8, 8, 7, 8, 7, 5, 8
	12個のデータの平均値は <b>8</b> であり、12個のデータの最頻値は <b>9</b> である。
問2	12個のデータの中央値は <b>10</b> で、このデータを箱ひげ図にすると <b>11</b> である。

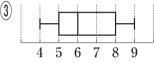
**問3** 12個のデータの分散を求めると **12** であり、標準偏差を四捨五入して小数第 2 位まで求めると **13** である。

- 8 の選択肢 (1) 6.0 (2) 6.5 (3) 7.0 (4) 7.5 (5) 8.0 (6) 8.5

- 9 の選択肢
- (1) 4 (2) 5 (3) 6 (4) 7 (5) 8

- 10 の選択肢
- (1) 6.0 (2) 6.5 (3) 7.0 (4) 7.5 (5) 8.0 (6) 8.5

- 11 の選択肢



- 4 5 6 7 8 9

- 12 の選択肢
- (1)  $\sqrt{2}$  (2) 2 (3)  $\sqrt{3}$  (4) 3 (5)  $\sqrt{5}$  (6) 5

- 13 の選択肢
- (1) 1.41 (2) 2.82 (3) 1.73 (4) 3.46 (5) 2.24 (6) 4.47

$\blacksquare$	以下の各問いの	]にあてはまるものを選べ。
----------------	---------	---------------

- **問1** 2次関数 $y = -x^2 + 4x + 2$ のグラフの頂点Aの座標は **14** であり, x軸との交点を P, Qとすると、そのx座標は  $x = \begin{bmatrix} 15 \end{bmatrix}$  である。 これより、線分PQの長さは 16 であるから、△APQの面積は 17 である。
- **問2** aを定数とする 2 次関数 $y = -x^2 + 4ax + 3a + 1$  のグラフとx軸の交点を S, Tとすると、そのx座標はaを用いて $x = \boxed{18}$  であり、線分STの長さはaを用いて $ST = \begin{bmatrix} 19 \end{bmatrix}$ である。

よって、線分STの長さの最小値は 20 である。

- 14 の選択肢
- (1) (-2, -6) (2) (-2, 2) (3) (-2, 6)

- (4) (2, -6)
- (5) (2, 2)
- $\widehat{\mathbf{6}}$  (2, 6)

- 15 の選択肢
- (1)  $2 \pm \sqrt{2}$
- (2) 2 ±  $\sqrt{6}$
- (3) 2 ± 2 $\sqrt{5}$

- (4) 4 ±  $\sqrt{2}$
- (5) 4 ±  $\sqrt{6}$
- (6) 4 ± 2 $\sqrt{5}$

- 16 の選択肢

- (1) 2 (2) 4 (3)  $2\sqrt{2}$  (4)  $2\sqrt{5}$  (5)  $2\sqrt{6}$  (6)  $4\sqrt{5}$

- 17 の選択肢

- (1) 6 (2) 12 (3)  $6\sqrt{2}$  (4)  $6\sqrt{5}$  (5)  $6\sqrt{6}$  (6)  $8\sqrt{5}$

- 18 の選択肢
- (1)  $a \pm \sqrt{4a^2 + 3a + 1}$  (2)  $a \pm 2\sqrt{4a^2 + 3a + 1}$  (3)  $2a \pm \sqrt{4a^2 + 3a + 1}$
- (4)  $2 a \pm 2 \sqrt{4 a^2 + 3 a + 1}$  (5)  $4 a \pm \sqrt{4 a^2 + 3 a + 1}$  (6)  $4 a \pm 2 \sqrt{4 a^2 + 3 a + 1}$

- 19 の選択肢

- (1)  $\sqrt{4 a^2 + 3 a + 1}$  (2)  $2 \sqrt{4 a^2 + 3 a + 1}$  (3)  $3 \sqrt{4 a^2 + 3 a + 1}$
- (4)  $4\sqrt{4a^2+3a+1}$  (5)  $5\sqrt{4a^2+3a+1}$  (6)  $6\sqrt{4a^2+3a+1}$

- 20 の選択肢

- (1)  $\frac{\sqrt{7}}{2}$  (2)  $\frac{\sqrt{7}}{4}$  (3)  $\frac{\sqrt{7}}{16}$  (4)  $\frac{\sqrt{5}}{2}$  (5)  $\frac{\sqrt{5}}{4}$  (6)  $\frac{\sqrt{5}}{16}$

